

思い出して即実践！ 学校での感染症予防の基本

基本① 咳エチケット

マスクを着用する

- マスクの着用により、感染者と接する人のウイルス吸入量が減少することがわかっています。多くの人と接する学校ではマスク着用が基本です。
- 忘れたとき用に予備を通学カバンに入れておく。
- それでも忘れたときは
→1年は1年職員室、2・3年は専門系職員室へ。



マスクをはずす時は

- 昼食時や運動時、息苦しい時などマスクをはずす場面もありますが、マスクなしでの近い距離の会話は感染リスクが高まります。マスクをはずしているときは、あまりしゃべらないようにする。
- 急なくしゃみや咳は、ハンカチや服のそでで口元を覆い、唾液が飛ばないようにする。

基本② 手洗い

タイミングを逃さず洗う

- 実習や体育など共用のものを使う授業の前後/食事の前
トイレの後/鼻をかんだり顔をさわった後など。

しっかり洗う

- さっと洗っただけでは爪の間や手のしわの汚れが落ちません。
せっけんを使って「手のひら」「手の甲」「指先」「爪の間」「親指のつけね」「手首」を洗う。
- 手をふくためのハンカチやタオルを用意すること。



基本③ 換気

- 毎授業開始～5分間、教室のドアと窓を開け換気を行います。
2方向の窓やドアを同時にあけてください。
- 今年度は、教室の暖房設定温度を昨年度より上げています。
寒くても換気は行うこと。



今後も毎朝、登校前に検温・健康チェックを行ってください。
発熱・かぜ症状があるときは無理せず、学校に連絡のうえ休養
しましょう。